

平成 16 年 11 月 14 日

JSAF 理事会御中  
(国際委員長経由)

JSAF 国際委員会  
委員 柴沼克己  
( ISAF 国際審判員小委員会 )

デンマーク・コペンハーゲン市内のマリオットホテルにて開催されました 2004 年 ISAF 年次会議に出席しましたので以下の通り報告いたします。

## 記

### 1、 日程等

11 月 5 日 ( 金 ) 09 : 00 出発 ~ 9 日 ( 火 ) 19 : 30 帰国  
( 往・復路 / JAL ) 名古屋 成田 アムステルダム コペンハーゲン

### 2、 関係委員会

( 1 ) 国際審判員小委員会 ( International Judges Sub-Committee / 以下「IJSC」)

... 会議出席 6 日 10 : 00 ~ 19 : 00

会議内容は別紙 ( 1 ) 参照

( 2 ) セーリングの発展のための研究集会 ( Connect to Sailing Seminar )

... 集会傍聴 7 日, 8 日 08 : 00 ~ 10 : 00

集会内容は別紙 ( 2 ) 参照

( 3 ) センターボード艇委員会 ( Centerboard Boat Committee )

... 会議傍聴 7 日 10 : 00 ~ 13 : 30

会議内容は別紙 ( 2 ) 参照

( 4 ) ユース世界選手権大会小委員会

... 会議傍聴 7 日 14 : 30 ~ 18 : 00

会議内容は本委員会委員の広瀬氏から報告があると思います

( 5 ) 地域大会委員会 ( Regional Games Committee )

... 会議傍聴 8 日 10 : 00 ~ 11 : 30 ( 会議は 13 : 30 まで開催 /  
途中公認競技役員委員会傍聴のため退席 )

会議内容は別紙 ( 2 ) 参照

( 6 ) 公認競技役員委員会 ( Race Officials Committee / 以下「ROC」)

... 会議傍聴 8 日 11 : 30 ~ 13 : 00 ( 会議は 18 : 00 までの予定  
/ 途中帰国のため退席 )

会議内容は別紙 ( 2 ) 参照

### 3、 特記事項

参加した各会議にて審議され承認、支持、勧告、却下等とされた各提案事項 ( Submissions 以下「提案」) 並びに議題、付帯意見等は、その後 ( 11 ~ 13 日 ) に開催される Councils ( 評議員 ) 会議にて論議され正式決定 ( 次回会議へ持ち越しされる案件、或いは作業部会等へ委ねられる案件等を含む ) となります。セーリング競技規則を除き、施行日に関して特に付帯決議がされない限り即日施行となります。

5、その他

- (1) インド・ヨット協会アジャイ副会長（アジア・セーリング連盟副会長）より 2006 年ドバイ・アジア大会（カタール）で、アジア大会では初めてのマッチレースが採用されるとのことで、日本からの選手・インターナショナルアンパイア（IU）の派遣に期待しているとのことでした（現在アジア地区の IU は、氏を含め日本の鈴木明善氏と青山篤氏を含め 3 名です）。
- カタール・セーリング/漕艇連盟(Qatar Sailing & Rowing Federation)委員長 (Chairman)のアブドラ氏からも多くの参加を期待しているとのことでした。
- なお、当該大会の ISAF 技術代表 (Technical Delegate) は、何度か来日されたことのあるオーストラリアのマーク・プライク氏(オーストラリア)です。
- (艇種・種目一覧) ... 4 海面を使用

男子	女子	オープン
420級	420級	
470級		
ウィンドサーフィン級	ウィンドサーフィン級	
レーザー級		
OP級	OP級	
		レーザーラジアル級
		ホビー16級
		マッチレース (キールボート /艇種未定)

日本が強く推薦した女子470級は採用されませんでした

- \* 2005 年 11 月にはテスト・イヴェント（リハーサル大会）が開催されます。
- \* 2010 年アジア大会は中国・広州市で開催されます。

- (2) タイ・ヨット競技協会 (Yacht Racing Association of Thailand) 事務局長 (Secretary General) のアピワット氏から明年 11 月にタイで開催するジャッジ・クリニック並びにインターナショナル・ジャッジ (IJ) セミナーをよろしくとのことでした。
- (3) この 11 月会議をもって ISAF の役員・委員は全員任期満了となります。新委員が選出されるまでは、ジャッジマニュアルのリニューアル担当者が決まらず、明年 1 月から実施される競技規則に関連する作業が一時中断されることになり、継続性を持たせるための施策が課題であると思いました。
- (4) この会議にて石井正行氏が再任されましたが、種田一郎氏は再任申請を辞退されましたので国内の IJ は 10 名となりました。IU、インターナショナルレースオフィサー (IRO) については新任、再任、辞退等がなかったのでそれぞれ各 2 名のままです。インターナショナルメジャラー (IM) については、茂澤宏氏の死去、長谷川裕氏 (いずれも 470 級) が本年の再任申請を辞退されたため日本人 IM は ISAF の制度発足以来初めて「ゼロ」となり、これに伴いアジア地区の IM は韓国の 1 名 (OP 級) のみとなりました。世界的に多くの艇種と艇数を有する日本では少なくとも 470 級、スナイプ級、FJ 級、レーザー級、OP 級等の主要艇種の IM 育成を艇種別団体とともに努め、日本とアジアにおけるワンデザイン級の一層の技術レベル向上と発展に寄与すべきと提言したいと思います。

以上

(別紙 1)

## IJSC (International Judges Sub-Committee) の会議内容 (議題)

- 1、前回会議(2003年)議事録の確認等 ... 特に意見もなく承認
  - 2、IJ の新任・再任審査
    - (1) 新任申請は26名(ROCへ推薦を可とするもの16名)
    - (2) 再任申請
      - 1) 2年任期申請/70歳以上は30名(ROCへは若干名を除き再任を可として推薦、他は意見を付してROCへ委ねた)
      - 2) 4年任期申請/70歳未満は68名(ROCへは若干名を除き再任を可として推薦、他は意見を付してROCへ委ねた)
    - (3) 再任辞退は8名、他に返答なし1名、在任中の死去2名
      - \* 新任については、昨年から実施された「Reference Form (調査書)」(申請者について一緒にジュリーを勤めた委員長(Chairman)からの意見書/3大会分)が重視されたが、意見が異なっている場合もあり審査に時間がかかったケースもあった。
      - \* 再任については、海外の大会参加数、インターナショナル・ジュリーの経験数、主要な大会参加等が更新のポイント。(不足する場合はその理由と近い将来の大会参加予定の計画を記した文書を提出することが少なくとも再任申請書に添付することが必要)
      - \* 審査の結果、承認された申請者をROCへIJとして推薦した。(認定権はROCにあります)
- 本年は日本からの新任申請はなく、再任申請が石井正行氏(2年)から提出されており、審査の結果問題なく承認された(ROCへ推薦された)。なお、種田一郎氏は再任申請を辞退された。
- 3、IJ試験についての討議
  - (1) 現行のIJ試験について論議した
  - (2) 2004年実施のIJ試験結果
    - 5回実施され、それぞれ次の通りでした。(合格者数/受講者数)
    - \* 2月 アメリカ(参加1カ国) 7/13
    - \* 3月 クロアチア(参加9カ国) 3/10
    - \* 3月 アメリカ(参加2カ国) 8/24
    - \* 4月 スペイン(参加7カ国) 8/23
    - \* 10月 英国(参加14カ国) 12/25
  - (3) 2回目のIJ試験受験者について確認した
  - (4) 試験問題管理者・セミナー講師  
IJSCメンバー4名を含む13名(10カ国)がその任に当たっている
- 4、IJ管理
  - (1) 規則(Regulation)33(IJ管理)について  
6月のミッドイヤー会議で改定された規則33を確認した
  - (2) IJ資格基準の運用について討議した
  - (3) IJ試験再受験者の管理方針について...特に論議はされなかった
- 5、IJセミナーとジャッジクリニックの開催について
  - (1) 2004年開催のジャッジクリニックとIJセミナー
    - 1) ジャッジクリニック \*2/28-29 ポーランド(参加1カ国)  
\*7/10-11 ニューージーランド(参加1ヶ国 14名)  
\*7/12-13 ブラジル(参加2ヶ国 14名)
    - 2) IJセミナー ... 上述3(2)の通り
  - (2) 2005年以降開催のジャッジクリニックとIJセミナー

- 1) ジャッジクリニック \*2月日程未定 ロシア  
\*9/7-9 タイ
- 2) IJ セミナー \*4/15-17 フィンランド  
\*9/12-15 タイ  
\*日程未定 ロシア、ドイツ

(参考) 会議では触れられませんでした。韓国が数日前に ISAF ヘジャッジクリニック( 明年 2 月下旬、ソウル) の申請をしていました。帰国当日、IJSC 委員長からクリニックだったら日本からどのくらいの参加が見込まれるかと聞かれ、IJ セミナーであれば何名かの参加があるだろうがクリニックでは参加の見込みは分からないと答えました。日本で IJ セミナーの開催についてはどうかと聞かれ、予算・行事計画等から判断して 4 月以降であれば可能であろうと伝えました。IJSC 委員長は韓国でクリニックを開催した後で続けて日本での IJ セミナーの可能性について探っていました。( クリニックもセミナーも各国協会からの申請に基づき開催されるものです。講師の旅費のみ ISAF が負担し、その他の経費は開催国が負担する - 参加料で賄う。)

- (3) 講習会での使用教材・方法について
  - ... IJ 講師のためのセミナーが開催されその内容の報告があった
- (4) IJ セミナー講師 ... 上述 3 (4) と重複
- (5) 関連予算について ... 報告がされた
- 6、IJ のクラス分け( 選考) について ... 論議されなかった
- 7、審判団( ジュリー) 判決文の標準化について ... 方向性について承認され、確認された  
( ルール委員会へは後日標準化された判決文を送付します)
- 8、大会における服装について ... 主催団体から競技役員へ提供される服装( 内容、数量、サイズ、耐水性、着用制限等) について論議した
- 9、ルールに関する質問とその回答を行う審議団( Q&A Panel) について
  - ... 見直しについての論議はされなかった
- 10、IJ の大会報告書( Regatta Report Form)
  - ... 特異な例が報告された
- 11、公認競技役員( Race Officials) の取調べ手続き( Investigation Procedure)
  - ... 論議されなかった
- 12、IJ マニュアル ... 論議されなかった
- 13、IJSC の会議期間延長について ... 認められなかった旨の報告があった
- 14、ISAF 規則 18.12 ( 特定の大会における公認競技役員の指名、又は承認に関する項目) の変更 ... 6 月のミッドイヤー会議で改定された規則 18.12 を確認した
- 15、関連する提案( Submission) についての意見
  - ... 関連する 13 の提案について論議し、IJSC の意見として支持、却下、持ち越し、その他を取りまとめ ROC へ報告した
- 16、ROC の議題についての意見 ... 特に論議はされなかった
- 17、その他
  - (1) 在任中の IJ が 2 名死去した
  - (2) ウィンドサーフィン級のうち、パフォーマンス競技に関するジャッジ( Expression Judge) の制度創設・育成について、ウィンドサーフィン委員会と IJSC とで合同ワーキングパーティーが必要との認識で一致した
  - (3) ケン・ライアン ISAF 副会長から 4 年間の貢献に感謝の意があった
  - (4) ジョージオ・ラウロ IJSC 委員長から 4 年間の協力に感謝の挨拶があった

以上

(別紙-2)

1、セーリングを繋ぐ研究集会 (Connect to Sailing Seminar)

セーリング参加者を増やすための実践報告とセーリングを繋ぐ大使 (the Connect to Sailing Ambassadors) の役割の説明等を通して経験を共有する

(1) 7日開催内容

\* イギリス・ペンリーン大学 (Penryn College) の例

... Community school involved in sailing

\* イギリス・ヨット協会 (RYA) の例

... RYA Training Center & Clubs (Onboard の最新情報)

\* アメリカの例 ... ミルオウキー Community Sailing Center

(2) 8日開催内容

セーリングを繋ぐ大使と実践者 (招待) 4名によるパネル・ディスカッション並びに Q&A

2、センターボード艇委員会 (Centerboard Boat Committee)

(1) 前回会議(2003年)議事録の確認

(2) クラス規則の変更に関する提案 (Submission) の審議

国際 420 級 - 3 件、国際 49 級 6 件、バイト級 1 件、国際キャデット級 2 件、  
国際ヨーロッパ級 11 件、国際フィン級 1 件、国際モス級 1 件、  
国際 OK ディンギー級 7 件、国際 OP 級 3 件、テザー級 1 件、  
ズーム 8 級 3 件、(追加で国際 FD 級あり)

\* セーリング装備規則 (ERS) 標準クラス規則に則ったものが求められていた。

(3) 2008 年オリンピック大会の艇種の選考について

(4) 技術委員会 (Technical Committee) の構築について

(5) 年次報告書について

(6) その他

3、地域大会委員会 (Regional Games Committee)

(1) 前回会議(2003年)議事録の確認

(2) 地域大会報告

1) 2004 年地域大会開催報告

2) 2005 年地域大会準備状況報告

\* ISAF ユース世界選手権大会の準備状況について韓国・釜山ヨット協会会長がパワーポインターを用いて説明をした

3) 2006~7 年地域大会準備状況報告

\* 第 15 回アジア大会の準備状況についてカタール・セーリング/漕艇連盟委員長がパワーポインターを用いて説明をした。(全体報告の 5(1)参照)

(3) 地域大会の ISAF 技術委員の任命について

(4) 定義 地域と大陸

(5) 大陸協会 (Continental Association) について

(6) 委員会委託事項について

(7) オリンピック予選について

(8) 地域大会のグレードについて

(9) 地域大会のための ISAF ウェブページについて

(10) 公認競技役員セミナーとクリニックについて

(11) 年次報告書について

(12) その他

\* ISAF は地域大会の支援を強力に行うことが必要であると強調された

4、公認競技役員委員会 (Race Officials Committee / ROC)

- ( 1 ) 前回会議(2003年)議事録の確認
- ( 2 ) 公認競技役員 (Race Officials) 小委員会からの報告
  - 1) 国際計測員小委員会 (International Measurers Sub-Committee)
  - 2) レース・マネージメント小委員会 (Race Management Sub-Committee)
  - 3) 国際審判員小委員会 (International Judges Sub-Committee)
  - 4) 国際アンパイア小委員会 (International Umpires Sub-Committee)
- ( 3 ) ROC の予算について
- ( 4 ) 公認競技役員の管理について
- ( 5 ) 公認競技役員の報告システムと行動評価について
  - 1) レガッタレポートの方式
  - 2) レガッタレポートの要約
  - 3) オンラインレポート方式
- ( 6 ) IJ のクラス分け方式について
- ( 7 ) Q&A Panel について
- ( 8 ) 大会における服装について
- ( 9 ) オリンピック・ジュリー(規則 16.3.1)について
- ( 10 ) 執行委員会 (Executive Committee) が指名するワーキングパーティー(規則 18.012.4)について
- ( 11 ) IU のグループ分けについて
- ( 12 ) 各大会の公認競技役員の任命(規則 18.12)について
- ( 13 ) セミナーについて
- ( 14 ) 公認競技役員の認定と再認定について
- ( 15 ) 公認競技役員と ISAF 間の紛争の解決方策について
- ( 16 ) RRS - 推進方法について
- ( 17 ) RRS - 付則 K(L2005RRS)について
- ( 18 ) フリートレースにおけるアンパイア - 試験的付則 Q - について
- ( 19 ) 国際 420 級クラス規則の変更について
- ( 20 ) 年次報告について
- ( 21 ) その他の事項
- ( 22 ) 公認競技役員の認定並びに大会公認競技役員の任命  
各小委員会からの推薦に基づき、各公認競技役員 (IM、IRO、IJ、IU) の認定と各種主要大会の公認競技役員の任命について審議し決定する。  
... 非公開にて行なわれる

以上